

# NPO法人 鹿児島技術士の会 講演会

## 1. 目的：

会員や一般社会人へ向けて、最新科学知見・技術・産業動向等の講演をとおして科学技術への好奇心を高めるとともに、広くその啓発・普及を図る。

## 2. 事業計画

科学技術や産業をリードしている人材に積極的にアプローチして講演会の講師をお願いしている。講演会を通して、建設業等あらゆる産業のイノベーションや起業、その課題解決にむけた技術的助言を行うとともに、支援と交流の輪を広める役割を果たす。

### 2-1 今回の内容

平成24年11月23日(金・祝日)14:00～17:00

かごしま県民交流センター（東棟3階 中研修室第1）

・住所：〒892-0816 鹿児島市山下町14-50

・電話番号：099-221-6600（代表）・ファックス番号：099-221-6640

会費：一般；1,000円、NPO会員；700円（会場・資料作成等）

申込先：NPO法人鹿児島技術士の会 鹿児島市田上4-5-17（(株)上野城 内）

講演責任者 上野 敏孝 099-213-4761（11月13日までにお願ひします）

（※ 定員60人になり次第締め切ります）

演題：「多自然川づくりに関する最近の動向 ～「川の見方」から実際の設計・施工・維持管理まで～」

\*\*\*\*\*

講師：堂蘭 俊多（どうぞの しゅんた）

国土交通省九州地方整備局八代河川国道事務所長

鹿児島県出身（45歳）。

1992年 旧建設省入省。長年にわたり河川行政を中心に携わる。

2008年度より岐阜県県土整備部河川課長。

2012年度より現職。

(河川と道路事業にまたがった職員の研鑽を全事務所的に展開)

## 2-2 講演要旨

平成9年に河川法が改正され、河川管理の目的に、治水、利水に加えて、河川環境の整備と保全が位置づけられた。そして、これを契機に、全国的に環境に配慮された河川改修、維持管理が展開されてきた。

しかし、自然に配慮した工法であっても、何のためにその工法を採用するのか、その工法が効果を発揮するためにはどのような条件が必要か、といった点を十分理解した上で施工にあたらなければ、結果として効果のない、あるいは景観上非常に違和感のある河川が出来上がってしまう。

本講義では、このような失敗例も取り上げつつ、全ての基本となる「川の見方」から、実際の設計・施工・維持管理といった実務に至るまで、幅広く紹介しつつ、今後の望ましい多自然川づくりについて考える一助とする。

また加えて、最近の国内エネルギー事情に鑑み、自然エネルギーの一つとして注目されている小水力発電について、地域社会における河川の有効活用という観点から、いくつかの国内事例を紹介し、今後の小水力発電が目指すべき方向性について理解を深める。

## 3. 共催後援等

共催 鹿児島県測量設計業協会 (CPD建設系・測量系3単位認定申請中)、鹿児島県建設コンサルタンツ協会、鹿児島県地質調査業協会

後援 鹿児島県  
鹿児島県技術士会

鹿児島県建設業協会(CPDS→申請中) 3ユニット(登録は各自でお願いします)

CPD認定申請中 日本技術士会九州支部 3単位